

生産性向上支援訓練カリキュラム

A. 生産管理	生産性Up・低コスト化を実現するための原価管理のポイントを学ぼう！
原価管理	原価管理とコストダウン

コースのねらい	低コスト化と生産性向上を目指して、原価管理をコスト（費用削減）と生産性（業務効率向上）の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを習得する。
----------------	---

対象	（中堅・管理者層向け） ・製造原価を見直してコストダウンしたい方 ・IE手法について学びたい方
-----------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	原価管理とは	(1)原価管理の基礎知識 原価管理とコストダウンの目的、企業を取り巻く問題について学ぶ。購入品の値下げだけでなく何を見ないといけないかの概略を学ぶ。	0.5
			(2)ムダの見える化 企業収益を向上させるためにはムダの削減が必要である。見えているムダにはすぐに取り組めるが、見えていないムダをどう見える化するか、事例を交えながら学ぶ。	0.5
	2	コスト削減	(1)コスト削減への取り組み コスト削減・業務改善をどれくらい実践できるかは働く人の主体性にかかってくる。従業員エンゲージメントが停滞している現状や、主体性を上げる方法について学ぶ。	1.0
(2)ムダとり ムダをなくしていくための問題の根本原因の抽出、具体策の決定までの手法について学ぶ。業務の数値化を含め論理的・多面的に問題を捉え、問題解決の進め方、一連の流れを学ぶ。			0.5	
3	IE手法による標準時間設定方法	(1)IE (Industrial Engineering) とは IE手法についての広範囲の中で、分析手法としてIE7つ道具の概略を学ぶ。実際の製造現場でどのような手法を適用しどのような改善ができたかを事例から学ぶ。	0.5	
		(2)効果が高く継続できるIE活用【演習あり】 受講者それぞれが抽出した問題から優先度の高い問題を選択し、グループワーク形式で問題解決を図る。	0.5	
		(3)コスト削減活動のポイント より効果の高い改善をしていくためのポイントとして、「もったいない」と設備投資との関係を事例を交えて学ぶ。投資金額とメリット/デメリット、償却期間などについて考える。	0.5	
演習	なぜなぜ分析をベースに、グループワークにより問題を論理的・多面的に捉え根本原因の抽出・具体策立案までを実施しその方法を習得する。アサーティブな議論ができるようルールを設定し、共感・気付きを得る。聞く・話す・書くことの重要性を体感する。		2.0	
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・会計部門が行う原価管理ではなく、現場からコストダウンを推進していくための内容に重点を置く。 ・講義とグループワークの時間を交互にするなどして飽きさせないように進行する。 ・受講者が職場に戻りできるだけ実践することを第一の目的とし、「〇〇したい」という主体性の向上に重点をおいている。 ・自身が経験してきた成功事例や失敗事例などを含め、より実際の職場での展開をイメージしやすい内容としている。

備考